

7. しかり方ほめ方編

① 子どもに寄りそうステキな言葉

《ねらい》

○子どもが失敗をしたり、よくない行動をしたりしたとき、子どもの心を傷つけずに子どもへよりそい、保護者の思いを伝えるにはどうしたらよいかを考え、日常生活に生かすことができるようにする。

《準備物》

○ファシリテーター：ワークシート

○参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい 今日は、子どもの心に響く伝え方について皆さんと考えてみたいと思います。その前に、ちょっとリラックスするために、簡単なゲームをしましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照	・4人程度のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P.4 参照	
展開 (35)	10	4. ワークシートに記入する。 ・子どもへの言葉かけ (ワーク1)	4. ワーク1 に例が載っています。参考にしながら、子どもの心を傷つけてしまった言葉かけを思い出しエピソードを書いてみましょう。また、その時言ってしまった言葉を書きましょう。	・傷つけてしまったエピソードが思い浮かばないときは、例のエピソードでもよい。
	5	5. ワークシートに記入する。 (ワーク2)	5. ワーク2 にその時子どもはどんなことを考えたのか想像して書きましょう。	
	10	6. グループで話し合う。 ・望ましい言葉かけについて (ワーク3)	6. ワーク1・2について、お互いに聞き合って感想を話し合しましょう。また、子どもの心に響く望ましい言葉かけをグループで考えて、 ワーク3 に記入してください。	
	10	7. グループごとに発表する。	7. どんな言葉に決まりましたか。グループで出た意見を発表してください。	・抽出グループでも可
まとめ (15)	5	8. ふりかえり	8. 心に響く言葉かけではどんなことが重要でしょうか。今日をふりかえって、気づいたことをワークシートにまとめてください。	・2～3人に発表してもらう。
	10	9. まとめ いかがでしたか。子どもの心に響く言葉かけは、感情的に叱ったり否定的な言葉を発したりするのではなく、子どもの努力やよい点をほめながら、子どもがどうしたらよいのか分かるように具体的に伝えることが重要ではないでしょうか。子どもを一人の人間として接することが求められています。		

① 子どもに寄りそうステキな言葉

子どもがよくない行動をしたときは、ついつい感情的に叱りがちです。日ごろの子どもへの接し方をふりかえり、状況に適した言葉かけをすることによって、子どもの成長を促していきませんか。



ワーク1 子どもへの言葉かけを考えてみましょう。

(例)

【幼児期～小学校低学年】 お店（マーケット）の中で走り回っている。

【小学校中学年～高学年】 兄・姉が大事にしているものをこわしてしまった。

具体的なエピソード（例でも可）

《つい言ってしまった言葉》

ワーク2 その時、子どもはどんなことを思ったでしょう。

ワーク3 子どもが失敗したときやつまずいたとき、どんな言葉をかけるのがいいのでしょうか。（具体的なエピソードをもとに考えてみましょう。）



ふりかえり



7. しかり方ほめ方編

② 我が家のルール ベスト3

《ねらい》

○それぞれの家族での約束ごとについて、内容や工夫を情報交換することにより、家庭における「ルール」について考える。

《準備物》

○ファシリテーター：ワークシート

○参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい 今日は、みなさんが日ごろ家庭で大切にしているルールについて情報交換しながら、家庭においての「しつけ」について考えていきましょう。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照	・4人程度のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P.4 参照	
展開 (35)	7	4. ワークシートに記入する。 ・我が家の教育方針 (ワーク1)	4. 日ごろははっきりと意識していないかもしれませんが、「子どもに伝えたいこと・大事にしていること・親子で決めていること」などを ワーク1 に記入しましょう。	・日ごろの生活で大切にしていることを思い出す。
	14	5. グループで紹介し合う。 ・ルールを守らせる工夫 (ワーク2)	5. ワークシートに記入した内容を、皆さんで紹介しましょう。その後、ルールを守るための工夫についてグループで考え ワーク2 に記入しましょう。	
	7	6. グループごとに発表する。	6. 各グループでの意見を紹介してください。	・各グループ2つずつ発表してもらう。 ・抽出グループでも可。
	7	7. ワークシートに記入する。 ・我が家で取り入れたいルールベスト3	7. 改めて、我が家で取り入れたいルールベスト3を ワーク3 に記入しましょう。	
まとめ (15)	5	8. ふりかえり	8. このワークをふりかえって、気づいたことをワークシートにまとめてください。	
	10	9. まとめ いかがでしたか。「我が家のルールは、これでいいのかしら」と不安になることもあるかと思いますが、今日は我が家のルールを再確認したり、他の家庭のアイデアを知ったりするよい機会になったのではないのでしょうか。ルールをつくる時は親の考えを示しながら子どもたちとしっかり話し合うことが出来るとよいでしょう。		

② 我が家のルール ベスト3

子どもの成長に合わせて、子どもの自立性や社会性を育てる目的で「我が家のルール」を決める家庭が多いようです。また、大人社会の影響を受けて、子どもの生活リズムが乱れるケースが増えています。この点においても「ルールづくり」は大切です。

就寝・起床の時刻、おやつの質や量、宿題、TVやゲームの時間など何かと気になるわが子の生活ですが、他の家庭ではどのように取り組んでいるのか興味深いところです。

本日は、我が家で大事にしているルールをみなさんと共有しましょう。よいルールや効果的なルールは持ち帰って、わが子とも話し合しましょう。

ワーク1

我が家の教育方針（子育て方針）

子どもに伝えたいこと・大事にしていること・親子での約束ごとなど

ワーク2

ルールを守るための工夫について紹介しましょう。

ワーク3

我が家を取り入れたいルールベスト3を書いてみましょう。

1位 _____

2位 _____

3位 _____



ふりかえり



7. しかり方ほめ方編

③ 子どもをやる気にさせる言葉

《ねらい》

○子どもの健やかな成長や発達のために、子どもへのより良い関わり方や言葉かけを考える。

《準備物》

○ファシリテーター：ワークシート

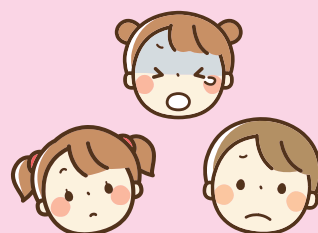
○参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい 今日は、ふだんあまり考えないで返している子どもへの言葉について考えてみましょう。そして、もっと子どもたちを元気づけたり、勇気づけたり、自信を持たせたりできる言葉かけを見つけましょう。その前に、心と体をリラックスさせましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照	・4人程度のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P.4 参照	
展開 (35)	10	4. ワークシートに記入する。 ・どんな言葉かけができるか (ワーク1)	4. 日ごろの生活を思い出しながら、それぞれの場面での言葉かけを ワーク1 に書いてみましょう。	・ふだん言っている言葉をそのまま書いてもらう。
	15	5. グループで話し合う。 ・子どもの気持ち ・子どもへの言葉かけ (ワーク2)	5. 記入したことをもとに、お互いの言葉かけについて、話し合ってみてください。言われた子どもの気持ちになって子どもをやる気にする言葉かけのポイントを考え、 ワーク2 に記入しましょう。	・子どもの立場になって、どんな言葉をかけてもらったらいれしいか考えてみる。
	10	6. グループごとに発表する。	6. どんな意見が出ましたか。グループで出た意見を発表してください。	・各グループから1つずつ発表してもらう。
まとめ (15)	5	7. ふりかえり	7. このワークをふりかえって、気づいたことや感じたことをまとめてみましょう。	
	10	8. まとめ いかがでしたか。自分が子どもだったらどんなふうに言ってもらおうと安心できたり、うれしかったり、納得したりするか考えることができましたね。子どもの性格を考え、心に寄り添いながら、子どもにやる気や元気、自信を持たせる一言をかけられる親になりたいですね。		

③ 子どもをやる気にさせる言葉

親はみんな、わが子の幸せを願っています。自分を大切にし、誇りと自信をもって、その子らしく輝いて生きていってほしいという期待をもっています。

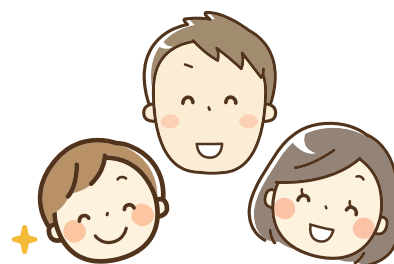
子どもの成長や発達には、親としての「関わり方」や「言葉かけ」が大きく影響をします。子どものありのままを受けとめ、しっかり認め、やる気にさせる言葉を、みんなで考えてみましょう。



ワーク1 どんな言葉かけができるでしょうか。次の3つの場面で考えてみましょう。

場面	余裕のないとき	余裕のあるとき
・朝、登園・登校しようとしている時に、のんびりとしている子に		
・使ったおもちゃや読んだ本を片づけない子に		
・決めた時間になっても遊んでいて（ゲームをしたり、動画を見たりして）寝ようとしらない子に		

ワーク2 子どもをやる気にさせる言葉かけのポイント



ふりかえり



7. しかり方ほめ方編

④ これって 誰が決めるの？！

《ねらい》

○家族でのルールの決め方をふりかえることにより、子どもへの関わり方について考える。

《準備物》

○ファシリテーター：ワークシート

○参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい 今日は、みなさんの家庭での約束ごとについて決定権は誰にあるのか情報交換しながら、家庭でのルールや子どもへの関わり方について考えていきましょう。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照	・4人程度のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P.4 参照	
展開 (35)	10	4. ワークシートに記入する。 ・きまりを決める人 (ワーク1)	4. 次の ワーク1 のことがらについて、「親」「親子で相談」「子ども」の3つの中から誰が決めたらよいのか、あなたの考えに近いものを選んで○をつけましょう。	・あまり悩まないで、直感で記入する。 ・就学前の保護者は、ことがらの5(家庭学習の時間)はなしにしてもよい。
	15	5. グループで話し合う。 ・ルールを決めるときに大切なこと (ワーク2)	5. ワーク1 に記入した内容を皆さんで紹介し合ひましょう。その後で、きまりを決める時に大切なことについてグループで話し合い、 ワーク2 にまとめましょう。	・考えた理由も紹介してもらおう。
	10	6. グループごとに発表する。	6. 各グループでの意見を紹介してください。	・抽出グループでも可。
まとめ (15)	5	7. ふりかえり	7. このワークをふりかえって、気づいたことや感じたことをまとめましょう。	
	10	8. まとめ いかがでしたか。子どもが言うことを何でも聞くことが親の優しさとはかぎりませんし、親が押しつけてばかりでは、子どもも自分で考えて行動する力が育ちません。今日話し合った家庭での約束ごとは、状況に応じて柔軟に変えるといった判断をすることも大切です。		

④ これって 誰が決めるの？！

家庭での約束ごと、みなさんのご家庭ではどのように決めておられますか。日々、成長していく子どもたちは、できることややりたいことが増えてきています。家でのきまりの決め方について考えながら、子どもへの関わり方について考えていきましょう。

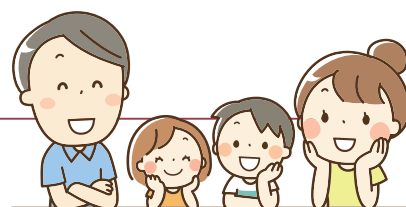
ワーク1

次のことがらについて、誰が主に決めますか？
あなたの考えに近いものを選んで○をつけましょう。

	ことがら	あなた	さん	さん	さん
1	起きる時刻や寝る時刻	親・親子・子	親・親子・子	親・親子・子	親・親子・子
2	テレビやゲームで遊ぶ時間	親・親子・子	親・親子・子	親・親子・子	親・親子・子
3	一緒に遊ぶ友だち	親・親子・子	親・親子・子	親・親子・子	親・親子・子
4	塾や習い事	親・親子・子	親・親子・子	親・親子・子	親・親子・子
5	家庭学習の時間	親・親子・子	親・親子・子	親・親子・子	親・親子・子

ワーク2

ルールを決めるときに大切なこと



ふりかえり

